

蜂刺され被害を防ごう！

一般的にスズメバチに刺される危険な時期は、7月～10月であると言われており、特に秋季は活動が活発になるため注意が必要です。



屋外作業の開始前に…

- ハチの巣がないことを事前に確認して作業を始めましょう
- 作業前に蜂がいないかももう一度確認しましょう
- 帽子・長袖長ズボン・防蜂網・殺虫剤・ポイズンリムーバー等の用意をしましょう



蜂に刺されてしまったら…

- ① 刺された傷口を流水でよく洗い流しましょう
- ② ハチの針が残っている場合は、ポイズンリムーバーで針を取り除きましょう
- ③ 抗ヒスタミン軟膏などを塗り、冷やしましょう
- ④ ショック症状が現れた場合は、一刻も早く救急病院で医師の診察を受けましょう



公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

コラム～安全だより～



春から秋は虫たちが活発に活動するシーズンです。庭仕事だけでなく、街路樹に危険が潜んでいることも。対処方法を知って、自分や身近な人の安全を守りましょう。

令和5年7月 (通算第127号)
発行：
公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)



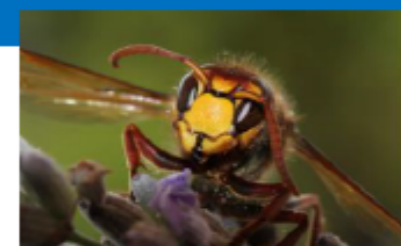
ハチ・チャドクガのシーズンです 身近に潜む虫たちにご用心！



スズメバチ

スズメバチの活動期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オオスズメバチ												
コガタスズメバチ												
ヒメスズメバチ												
キイロスズメバチ												



近づかない！

ハチが飛んでいる場所は、たいてい近くに巣があります。ハチはむやみに人を刺しませんが、不用意に近づくと巣を守ろうとして刺すこともあり、特に「カチカチ」と音を放っているときは**攻撃態勢**なので、すぐに退避しましょう。

露出は少なく、黒色をさけて！

- 長袖・長ズボン・タオルで肌を覆う
- 黒っぽい服装を避ける
- 帽子とゴーグル(黒目部分の保護)着用
- 匂いの強いもの(化粧品・整髪料・清涼飲料水など)を避ける

万一刺されてしまったら…

- 刺された場所から離れる【←ここ重要】
- ポイズンリムーバーで毒を吸い出す
- 傷口を洗い、抗ヒスタミン軟膏を塗る

※もし目の周りを刺されたり、刺された後に気分が悪くなったりした場合は、すぐに病院に行きましょう。

チャドクガ(茶毒蛾)

チャドクガの発生時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵												
幼虫(毛虫)												
成虫(ガ)												



気づかないうちに発症することも…

チャドクガの幼虫はツバキやサザンカ、お茶などを好むため、自宅や近所の公園で生息している可能性があります。チャドクガは卵、幼虫、成虫のどの段階でも体毛に毒を持っています。

風に乗った毒針毛が肌に刺さったり、毒針毛がついた衣服を知らないうちに着てしまったりして発症することもあります。

万一刺されてしまったら…

- 刺された箇所に粘着テープを張り付けて毒針を取り除く
- 強い流水で患部を洗い、赤みや腫れ、かゆみが出てきたら冷やす(搔かないこと)
- 抗ヒスタミン軟膏を塗る
- 衣類についた場合は50℃以上のお湯で洗い、スチームアイロンをかける(洗濯機で洗うと他の衣類に移ってしまうのでNG!)